



Multi-Factor Authenticator

セットアップガイド

マイクロソフト オーセンティケーター

Microsoft Authenticator

エッジ

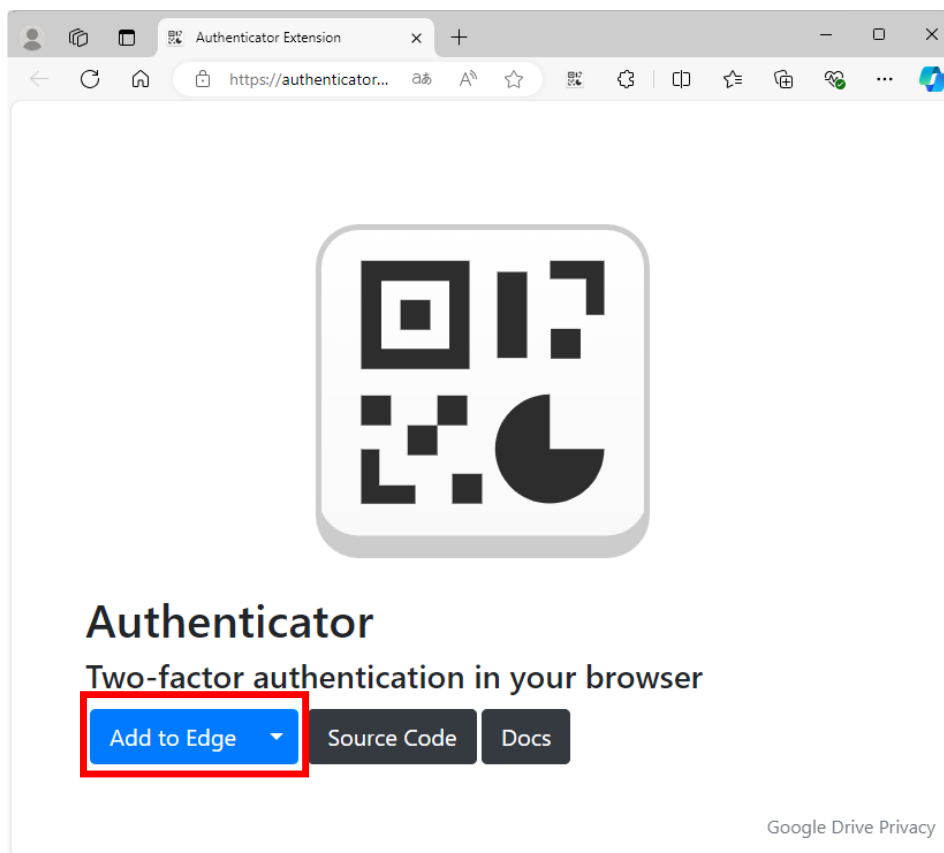
Edge用のブラウザ拡張機能

International Material Data System

マイクロソフト オーセンティケーター エッジ

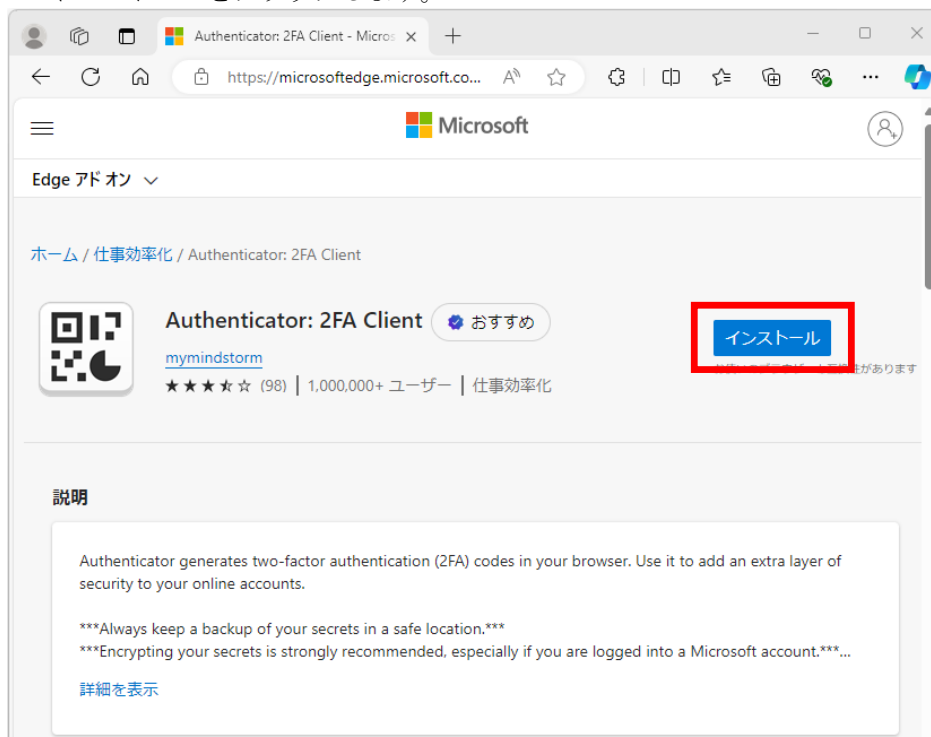
1. Microsoft Authenticator Edge用のブラウザ拡張機能のインストール

1. <https://authenticator.cc/> にアクセスします。
2. ブラウザを選択します。Add to Edgeを選択します。

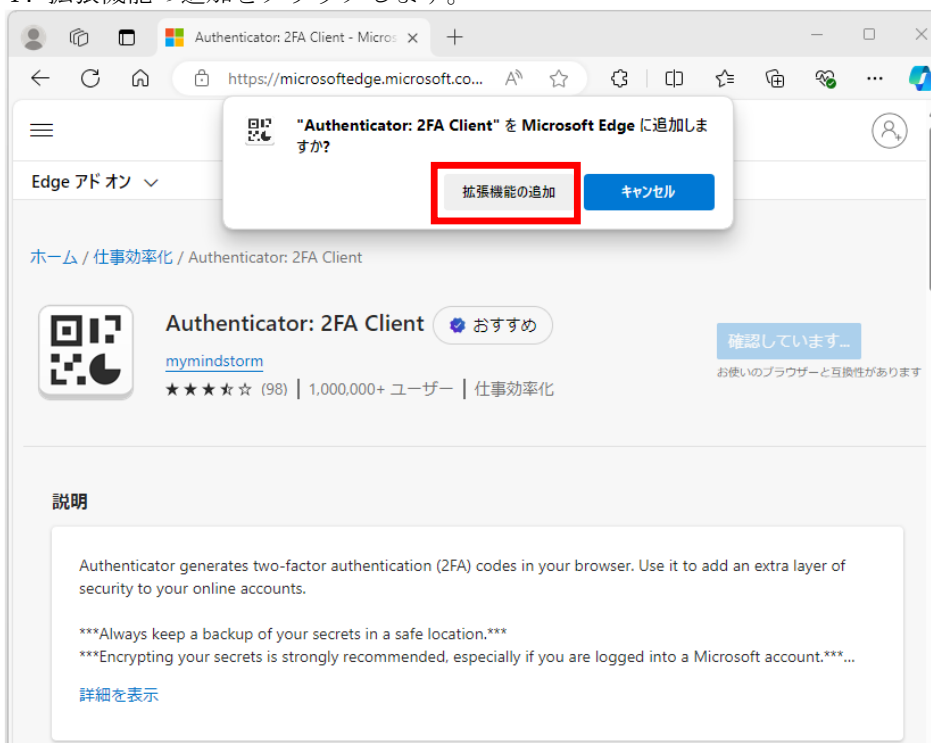


International Material Data System

3. インストールをクリックします。

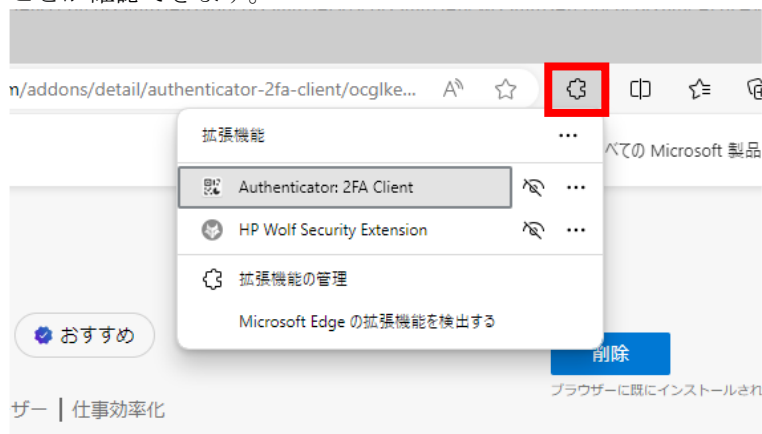


4. 拡張機能の追加をクリックします。

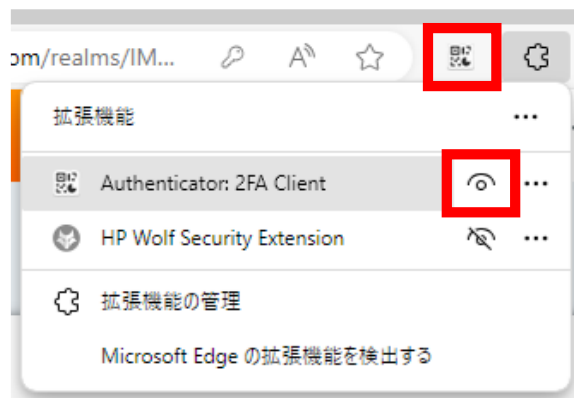
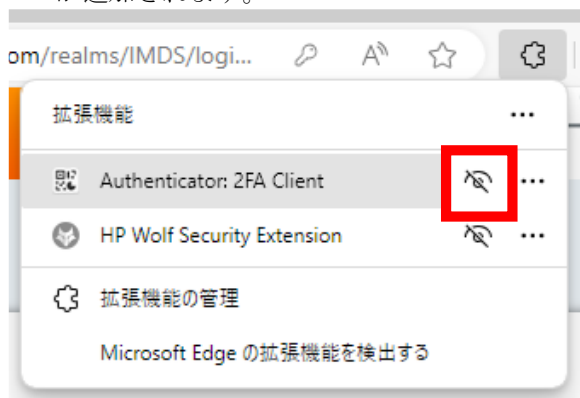


International Material Data System

5. ツールバーにある拡張機能 (🔧) をクリックすると、Authenticator: 2FA Client が追加されていることが確認できます。



6. Authenticator: 2FA Clientの🔍マークをクリックすると👁️に変わり、ツールバーに🔍アイコンが追加されます。



International Material Data System

2. IMDS にログイン

1. IMDSのログインページにアクセスし、「ログイン」をクリックします。



2. 「アカウントにログイン」画面で、ユーザーIDを入力し「ログイン」をクリックします。



3. 次にパスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。



International Material Data System

4. 「モバイル・オーセンティケーターの設定アップ」画面が表示されます。
※モバイル・オーセンティケーターと表示されていますが、ブラウザのみで設定可能です。

日本語 ▾

モバイル・オーセンティケーターの
セットアップ

 アカウントを有効にするにはモバイル・オーセンティケーターの
セットアップが必要です。

1. 次のいずれかのアプリケーションをモバイルにインストールします。
Google Authenticator
Microsoft Authenticator
FreeOTP

2. アプリケーションを開き、バーコードをスキャンします。



スキャンできませんか？

3. アプリケーションから提供されたワンタイムコードを入力し、送信をクリックし
てセットアップを終了します。

OTPデバイスの管理に役立つデバイス名を指定します。

ワンタイムコード *

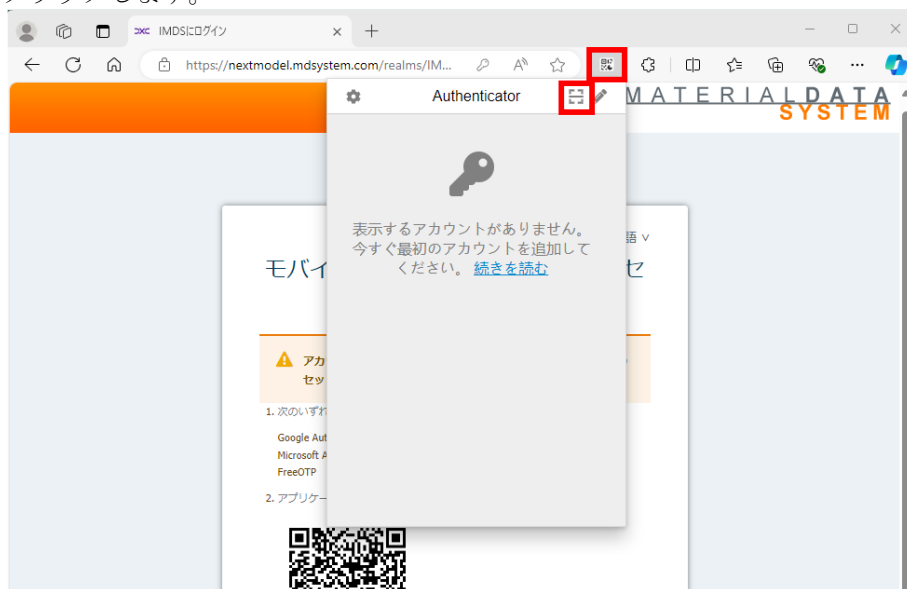
デバイス名

☒ Sign out from other devices

送信

International Material Data System

5. ツールバーの アイコンをクリックすると、Authenticatorが表示されるので、右上の マークをクリックします。

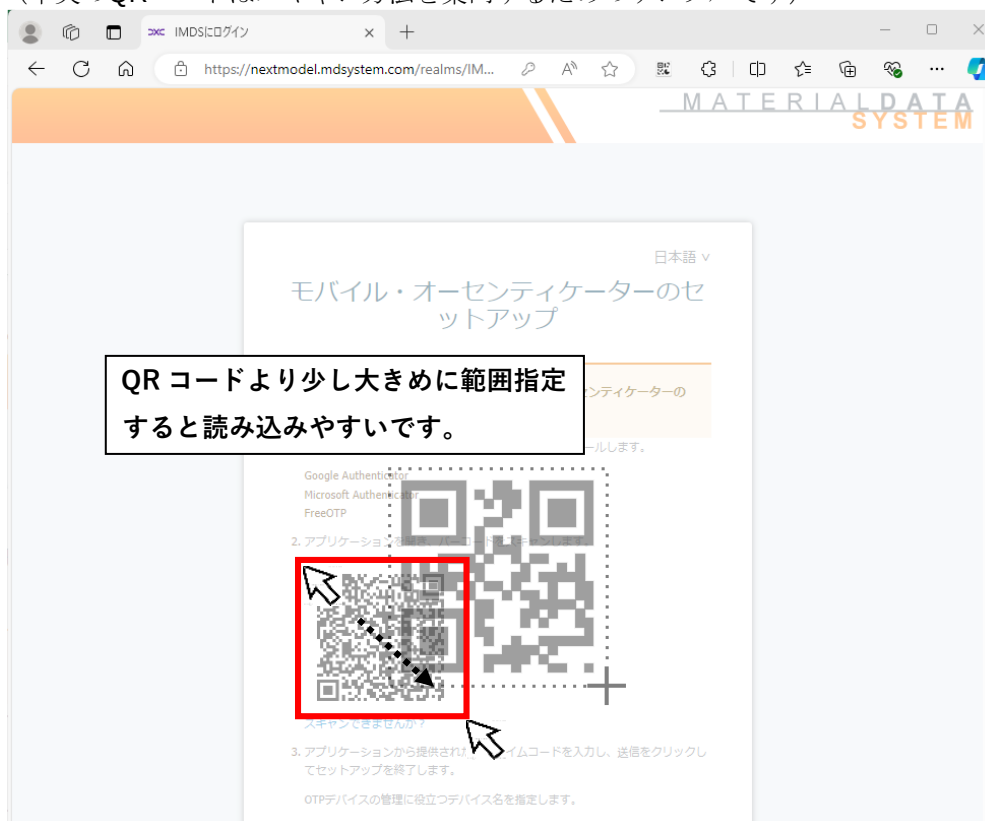


6. 左下に表示されているQRコードをスキャンします。

<スキャン方法>

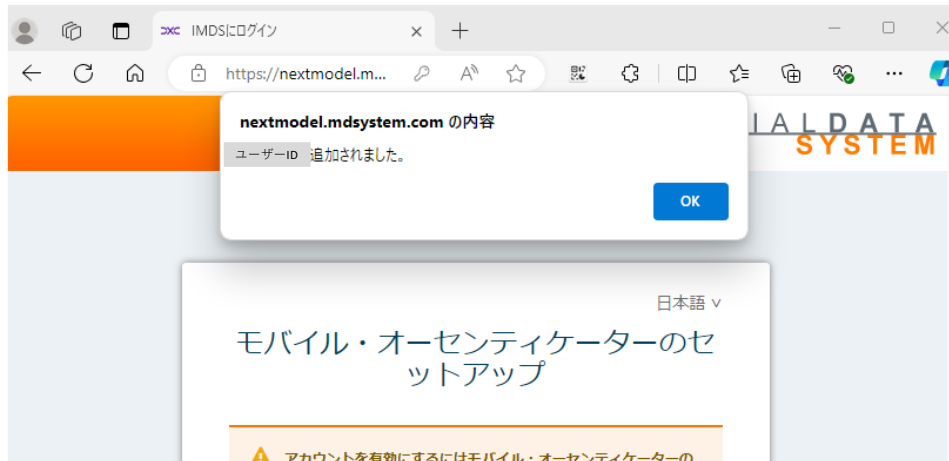
QRコードの左上をクリックし、クリックしたまま右下まで移動させます。

(中央のQRコードはスキャン方法を案内するためのサンプルです)

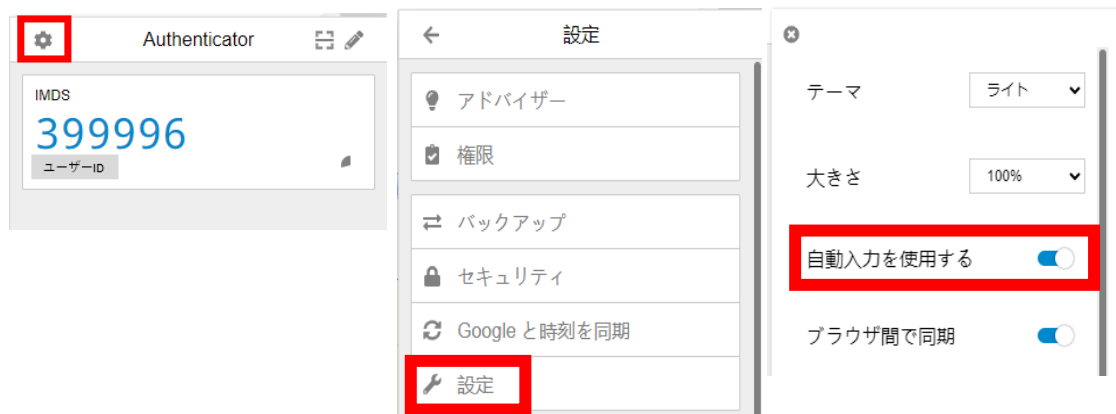


International Material Data System

7. 該当のユーザーIDのAuthenticatorが追加されます。
画面上のOKをクリックします。



~~~~~  
ワンタイムコードを自動入力するように設定したい場合  
(使用PCが設定の変更を制限されている場合はできません)



## International Material Data System

8. ツールバーのアイコンをクリックしてAuthenticatorを表示し、表示された6桁のコードを「ワンタイムコード」欄に入力します。

Authenticatorに表示されたコードをクリックするとコピーされます。

自動入力設定していない場合は、「ワンタイムコード」欄にペースト(貼り付け)してください。



9. 「デバイス名」にご自身のデバイスの名前を入力します。(どんな名前でもOKです)
10. 「送信」をクリックすると、セットアップが完了し、ログインできます。

※送信をクリックした後「無効なオーセンティケーター・コードです。」と表示された場合、次の【注意事項】④をご確認ください。

## International Material Data System

## 【注意事項】

- ① 2回目以降ログインする際は、ユーザーID ⇒ パスワード ⇒ ワンタイムコードの順で入力し、ログインします。

毎回ワンタイムコードが必要になりますので、AuthenticatorのユーザーID情報を削除しないでください。

※QRコードが表示されるのは初回設定時のみです。またQRコードをスクリーンショットなどで保存しても後から使用することはできません。

- ② 次の場合はMFAのリセットが必要になりますので、社内のカンパニーアドミニストレーターにMFAのリセットを依頼してください。リセットすると再度QRコードが表示されるようになり、再設定が可能になります。
- ・ログイン時にAuthenticatorでワンタイムコードが確認できない状態でQRコードも表示されない
  - ・設定する端末を変更したい

## 【MFAリセットの方法】

1. カンパニーアドミニストレーターがログインする
2. 画面左上のシステム管理 > ユーザーをクリックする
3. 画面右側の「検索」をクリックする
4. 画面下側の検索結果で、該当のユーザーIDを右クリックして、「編集」をクリックする
5. 右下の Reset MFA をクリックする



- ③ Authenticatorは1ユーザーIDにつき1つのみ設定できます。複数の端末に設定することはできません。また複数の方によるユーザーIDの共有はしないようお願いしていますので、ユーザーIDの追加が必要な場合は、社内のカンパニーアドミニストレーターに追加を依頼してください。

## 【ユーザーの追加方法】

1. カンパニーアドミニストレーターがログインする
2. 画面左上のシステム管理 > ユーザーをクリックする
3. 画面右側の「作成」をクリックする
4. 新規ユーザーの情報を入力する ユーザー承認プロファイルを選択する  
(ユーザー管理をする場合は Company Administrator を選択する)
5. 画面左上のデータシート > 保存 をクリックする
6. 新規のユーザーIDが表示される (ご本人に伝えてください)
7. 操作した方と、新規の方に登録した旨のメールが届く  
(新規の方本人宛のメールにのみパスワードが記載されています)

## International Material Data System

- ④ 「無効なオーセンティケーター・コードです。」と表示される場合、QRコードの有効時間が過ぎてしまった可能性がありますので、**Authenticator**から**ユーザーID情報を削除した後**、ログイン画面でログインするところ(P.5)からやり直してください。

OTPデバイスの管理に役立つデバイス名を指定します。

ワンタイムコード \*

無効なオーセンティケーター・コードです。

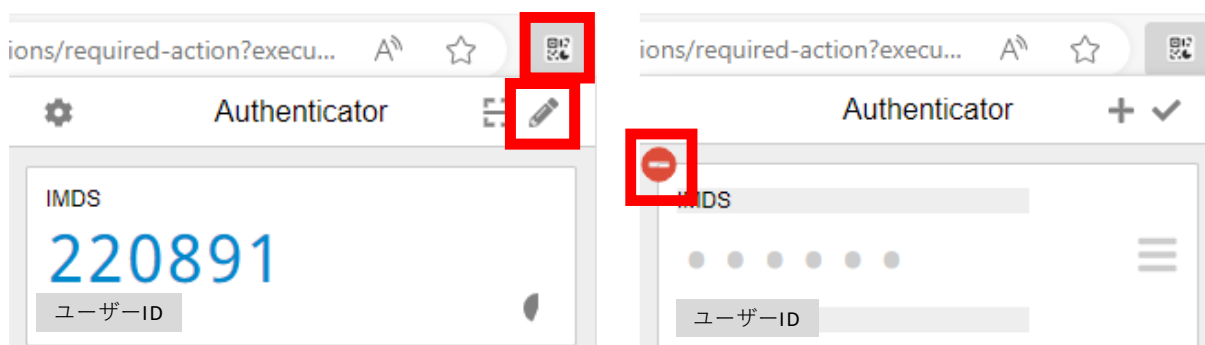
デバイス名

☒ Sign out from other devices

送信

### 【AuthenticatorからユーザーID情報を削除する方法】

1. ツールバーの アイコンをクリックして Authenticator を表示する
2. 右上の （編集）マークをクリックする
3. 削除したい Authenticator のユーザーID 情報の左上の をクリックする



## International Material Data System

⑤ 使用言語に日本語を選択してログインしたにもかかわらず、ログイン後に英語表示になってしまう場合、下記の設定をお試してください。

1. ログイン時の「アカウントにログイン」の画面で右上に「日本語」をクリックする
2. プルダウンリストの中の「日本語」をクリックする

その後、ログインを進めてください。

